完全な機能回復を見た. 残る一例は回復せず現在に至っている. しかし,全例2ヵ月以内に気切カヌーラを抜去,退院出来た. リンパ節の部位別転移率,転移度も報告した.

33. **駒込病院における食道表在癌症例の検討** (都立駒込病院外科)

岩塚 油雄•吉田 操・増山 克 開院以来10年を経過したが、その間、当科に入院し た食道癌症例は293例であり、そのうち切除例は215で 切除率は73%である。しかし切除例のうち Stage IV は50%で進行例が多く, Stage 0, Stage I は計15例で 併せて7%にすぎない、しかし、最近表在癌症例が少 しずつ増えつつあり、表在癌も18例を数えるように なった。これら表在癌症例について検討した。18例中 4 例が癌死しているが、これらはいずれも sm 症例で、 表在癌といえども sm 症例は予後不良のものもあり、 とくにlv(+),v(+)症例は予後がよくない、このよ うな症例には術後の化学療法も考慮すべきである。以 上表在癌について報告したが、更に症例を増やして検 討を続けたい.

34. 中山記念胃腸科病院の現況

(中山記念胃腸科病院)

林 恒男・矢川 彰治・上田 哲哉・ 安康 晴博・金子 篤子

当院開院以来2年8カ月、消化器病センターの全面 的協力を得て、中山記念病院に相応しい病院造りに専 念し, 当初の予想を上回る成績を挙げることが出来た. 本年8月末を目標に109床へと現在増築工事中である. 個室を中心とした病室増床, 手術室, 中材, 回復室, ナースステーション、X線室等の拡充を図っている。 これまでに経験した624例の手術例を中心に現況を報 告した。624例中、虫垂切除術は188例で、悪性疾患は 136例であり、食道5、胃70、大腸40、胆のら、胆道系 5, 膵 5, 肝 1 例等である. このうち早期食道癌 2, 早期胃癌14,早期大腸癌2例を経験し、十二指腸乳頭 部括約筋内に限局した癌 (リンパ節転移陽性) 1例の 治験例も得ている。長径8mm の微小早期癌 (m癌)。 膵炎進行により増強した線維性食道狭窄を合併した早 期食道癌(m癌),primary sclerosing cholangitis, 直 腸悪性黒色腫、十二指腸乳頭部癌等を供覧した。

35. B型肝炎とは何か一B型肝炎症候群の提唱ー (国立横浜病院消化器科)

林 直諒・栗原 毅・鴨川由美子・

横山 聡・進藤 仁

種々の HBV マーカー陽性を示す症例について検討し、B型肝炎の診断は疾患診断ではなく症候群ととらえるべきであると結論した。

IgM HA 抗体陽性A型急性肝炎で,HBsAg(+),Anti HBs(-)で,HBeAg は当初陽性その後消失した例があった。組織では LC. この例はA型およびB型肝炎ウイルスマーカーを同時測定し,初めて全体像がつかめた例で,B型肝炎の診断は除外診断も加えて初めてしうることを示す。B型慢性肝炎では healthy carrier のゼロパターンが HBsAg(+),HBeAg(+),Anti HBc(+)であるのと同一のものが多い.又 anti HBe(+)のものでも活動性のものもみられる.以上より血清ウイルスマーカーでは病態の診断が全くし得ないことが分る.更に HBeAg のみ陽性を示し,HBs,HBc 抗原,抗体,DNAP 全て陰性で,非Bと思われたが,組織内に HBV DNA をみた例があった.このようにB型肝炎の診断基準は自明とはいえず,B型肝炎とは症候群診断として認識するべきであろう.

36. 慢性膵炎に対する全胃幽門輪温存膵頭十二指腸 切除術

(東京女子医大消化器病センター外科)

鈴木 衛・羽生富士夫・中村 光司・ 今泉 俊秀・吉川 達也・大橋 正樹・ 重松 恭祐・中迫 利明・新井田達雄・ 梁 英樹

1935年 Whipple 等が十二指腸乳頭部癌に対し、最初 の膵頭十二指腸切除術施行以来約50年を経ている。こ の間、消化管再建法については、Whipple 自身、ある いは Child, Cattell 等によって、幾多の工夫と変遷を 経て, 今日に至っている. 最近まで, 術後の吻合部潰 瘍発生の危惧から, 膵頭十二指腸切除術に際しては, 原病巣の状況とは全く無関係に広範囲な胃切除が行な われてきた。1977年 Traverso and Longmire は、こ の胃切除という既存概念を打ち破り、全胃幽門輪温存 による膵頭十二指腸切除術の2症例を報告した。本邦 においても、1981年頃から諸家によって追試され、わ れわれも、現在までに、慢性膵炎10例、膵胆管合流異 常3例,十二指腸乳頭部癌1例の計14例に,全胃温存 膵頭十二指腸切除術を行なった。そして、術後一渦性 の胃内容排出遅延以外は, 重篤な合併症もなく, さら に術後体重増加については従来の膵頭十二指腸切除術 に比べ良好であった。現在のところ、癌性疾患に本術